

第2回 企画委員会（議事録）

日 時： 平成30年9月2日（日） 15:00 ～ 17:00

場 所： 高田高校ALルーム

進 行： 駒沢教頭 記録： 松永

【資料一覧】

- | | |
|--------------------------------------|---------------|
| (1) 資料①： 平成30年度 企画委員会「名簿」 | P. 1 |
| (2) 資料②： 100周年スローガン、ロゴマークの選定結果について、他 | P. 2 ～ P. 5 |
| (3) 資料③： 第2回記念誌編纂委員会（議事録） | P. 6 |
| (4) 資料④： 創立100周年プレ記念行事について、他 | P. 7 ～ P. 9 |
| (5) 資料⑤： 創立100周年記念事業協力金について、他 | P. 10 ～ P. 15 |
| (6) 資料⑥： 第2回記念事業委員会（議事録）、他 | P. 16 ～ P. 24 |

1 はじめに

(1) 開会挨拶

① 中尾記念事業実行委員長 挨拶

- ・皆さんの協力を得て、高田高校らしい事業を成し遂げたいと考えている。とりわけ、同窓会としては、「生徒のためになる事業」になるよう努めたい。
- ・第1回企画委員会を今年2月に行ったが、今回は企画委員の方々から総括的にご意見をいただき、これまでの取組にかかわる一定の方向付けを付けたい。

② 宮部PTA会長 挨拶

- ・PTAは、役員が年度ごとに替わっていくが、同窓会・学校と連携を密にしながら、積極的に協力していきたい。

③ 佐藤校長 挨拶

- ・スローガン「100周年 羽ばたけ群鳩 未来の空へ」（書道部が揮毫し部展にも展示）とロゴマークが決定した。
- ・PTA及び同窓会には、100周年記念事業に向けて資金を着実に積み立てていただいていることを感謝申し上げます。

(2) 各委員紹介

- 企画委員会各委員 自己紹介（資料①参照）

2 議 事

(1) 記念事業実行委員会・各専門委員会より

— 進捗状況報告・提案、協議、補足説明 —



① 総務委員会より (資料②参照)

- ・全校生徒より公募したスローガンとロゴマークが決定。
- ・スローガンは「100周年 羽ばたけ群鳩 未来の空へ」、同じくロゴマークは、歯車が噛み合ったデザインが評価された。(上記参照)
- ・最優秀者・佳作には、表彰状と記念品(5,000円・3,000円)を贈った。費用は100周年基金より。
- ・スローガン・ロゴマークの決定については、同窓会報にもページを割いて掲載した。本校100周年HPにも掲載する。
- ・創立100周年のスローガンやロゴマークを入れた封筒を作成し、同窓会総会、学年同窓会等でアピール用として活用する。また、100周年実行委員会用の封筒も別途作成する。封筒の色は、新たに選定する。

② 記念誌編纂委員会より (資料③参照)

- ・記念誌は、新書版の興味深く平易に読める「簡略版」を作成する。
- ・分厚くページ数が多いものは、作成に労力がかかる割りに、後から活用されることが少ない。
- ・これについては、本校の元教諭の井岡康時氏に、100年間の1年ずつを2ページくらいにまとめた「通史」という形で、執筆を依頼する。こうした新書サイズの記念誌は、いずれの100周年の先達校も実施しておらず、生徒が手軽に読み、ホームルームでの活用も期待される。
- ・在校生のみならず、その後の新入生にも配布できるような部数を考える。発行は、2021年11月を予定。
- ・また、本校のこれまで周年行事のときと同様、最近「10年の歩み」を編集する。91年～100年の歩みを、本校の教員が分担して執筆・編集を行う。
- ・但し、100周年の嘉節に際し、特に新たな資料の発掘やビジュアルな資料の収集のため、外部の人に協力してもらうことも検討中。発行は2022年2月を予定。

③ 行事・式典委員会より (資料④参照)

- ・式典は、2021年11月1日午前に体育館で開催。在校生及び関係者(体育館の収容人数を勘案する)の参列を計画する。
- ・祝賀会は、同日午後開催。会場は未定。(200人規模)
- ・100周年プレ記念行事として、2019年度の在校生全員を対象とした芸術鑑賞会を実施する。
- ・これは、来年度以降に毎年実施する1年生対象の芸術鑑賞会の延長線上の行事として行う。
- ・2019年6月は第3学年、11月は、1・2学年及び関係者100名を予定。
- ・関係者には、PTA会員及び同窓会会員等を想定とし、自己負担4,180円+実行委員会から

の補助5,000円で参加者を募る。教職員の引率にかかる費用はP T A負担とする。

- ・更に、学校行事、部活動の定期演奏会・展覧会、招待試合等で「高田高校創立100周年」の冠を付けて実施する際、実行委員会から補助金を支出し、事業の趣旨をP Rし機運を盛り上げる。
- ・なお、O B会による展覧会等にはチャリティー販売を実施し、一部収益金は、100周年記念事業への寄付に回していただけたらと考えている。

④ 募金委員会より (資料⑤参照)

- ・先に100周年を迎えた他校の例を参照して、資金計画を立てていきたい。
- ・記念事業(同窓会館改装)のためは「特定寄付金」を募る。
- ・それにはまず、改装事業の許可を県教委(学校支援課)に申請し、許可書が支援課から下りた段階で、大阪国税局に特定寄付金(所得控除がある)の指定申請を行う。
- ・「協賛金」として、教育環境整備事業として、卒業時か入学時の1回、保護者から任意の協力を依頼する。
- ・これは、在校生の保護者からは、P T Aの2018~2020年までの積立金とは別に、「協賛金」という形で、平成28~30年度入学生に、卒業時5,000円、31~33年度入学生に、入学時10,000円を任意で協力を求めるものである。

⑤ 記念事業委員会より (資料⑥参照)

- ・記念事業のメイン事業として、同窓会館のリノベーションを行う。
- ・一階の食堂の採光を工夫し、使い勝手が良くなるよう整備する。
- ・改装の原案としての添付の図面を添えた。正式な改装計画、施工業者の選定等は、④で述べた県教委学校支援課の許可後になる。その際、選定の経緯等について、公正性・透明性を担保するよう順序を踏んだ周到な取組を行う。
- ・県教委学校支援課への申請にも、一級建築士による図面や耐震構造計算書など必要書類の整えなどの周到な準備が必要である。

3 その他

(1) 第3回企画委員会の開催日程 …… 平成31年2月頃実施予定

(2) 各専門委員会の実施予定(日程) …… 希望があれば、適宜事務局に申し出てほしい。

(3) ① 封筒作成

② 業務委託の職員の費用について

- ・現在のP T A職員に、実行委員会の費用負担で勤務日数を増やし、2019年~2022年度、本事業のための事務処理を委託する。

(4) 閉会挨拶(校長より)

① 本年度2学期前半に横断幕やポスターを作成し、広報に努める。

② マスコットを作るなど、平成30年2学期以降、生徒の新たな参画を企画していく。

③ 100周年事業を具体化をとおして、学校の教育環境が良くなるようご協力をお願いします。